

会 議 録

会議等の名称	令和5年度 第1回東御市スポーツ推進審議会	開催日時	令和5年9月19日（火） 午後1時30分～午後3時00分
		場 所	東御市役所本館2階 全員協議会室
主催者(事務局)	東御市企画振興部文化・スポーツ振興課	司会者	企画振興部 井上部長
出席者	<p>[委員] 会長:横田 匡俊 職務代理者:三溝 和子 神津 志保美、若林 豊文、唐澤 光章、岡田 真平、上蘭 美千代、上原 真美、荒木 雅己、依田 要一</p> <p>[事務局] 企画振興部長 井上 祐一、文化・スポーツ振興課長 高橋 則幸、スポーツ係長 所 洋一 スポーツ係 事務担当 土屋 枝里香</p>		
欠席者	<p>[委員] 小林 経明、宮下 聡、小菅 武志、荻原 太郎、柿沼 宏直</p> <p>[オブザーバー] (公財) 笹川スポーツ財団 小淵 和也</p> <p>[アドバイザー] 武庫川女子大学教授 柳沢 和雄</p>		
議題等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1期 東御市スポーツ推進計画 後期アクションプランの状況について ・ 第2期 東御市スポーツ推進計画について 		
決定事項 (要点を簡条書き)			
次回への検討事項			

討議内容及び経過	(発言者名)	発言内容(要点のみ記載)
1 開会	職務代理者	開会
2 会長あいさつ	会長	会長あいさつ
3 市長あいさつ	市長	市長あいさつ

討議内容及び経過	(発言者名)	発言内容(要点のみ記載)
4 審議事項	会長	第1期 東御市スポーツ推進計画 後期アクションプランの状況について事務局より説明願う。
(1) 第1期 東御市スポーツ推進計画 後期アクションプランの状況について	事務局(土屋)	後期アクションプランの実施状況について説明。
	会長	ただ今の説明に対しての意見等はあるか。
	会長	概ね順調に実施している状況であるが、スポーツ人財バンクについては些か数値が低いように感じる。その辺りについてはどうか。
	事務局(所)	人財バンクは中学校の部活動の地域移行にも活用できるように実施したが、地域移行について国や県からの指針がなかなか示されず、手探りでやっている状況もあり、どういったことが出来るのか等がうまく説明できないため、指導者の登録者数が増えなかったり活用されずにいたりする。しかしながら、いずれかは地域移行が実施されていくようになることから、国や県の動向を注視しながら今後積極的な活動ができるようにしたいと考えている。
	委員	後期アクションプランは令和4年度の実施状況のみ載っているが、過去の数字も確認したい。
	事務局(所)	前回、令和4年度途中の実施状況を報告したため、今回は令和4年度末の数字を載せさせていただいた。令和5年度末でちょうど第1期の計画が終了するため、その際には過去のデータも合わせて進捗を示していきたい。

討議内容及び経過	(発言者名)	発言内容 (要点のみ記載)
(2) 第2期 東御市スポーツ推進計画について	会長	第2期 東御市スポーツ推進計画について事務局より説明願う。
	事務局 (土屋)	第2期 東御市スポーツ推進計画 (素案) について説明。
	会長	ただ今の説明に対しての意見、その他、意見等はあるか。
	委員	計画の中に現状を改めて整理・分析とあるが、その結果どう改善したり、どのような共有認識をもってこれからの計画を策定していけばよいか教えてほしい。
	事務局 (所)	第1期では国に基づいて多種多様な施策を策定していたが、実際はあまりスポーツに直接関連しないようなものもあった。今回は東御市らしいものに絞り、地域資源を活用した市独自の活動を推進していく。東御市らしいものとして現状をみると、例えば子どもたちにおいては体力低下や運動離れが顕著になっている。そのため第2期の計画は、幼少期は運動遊びや自然体験などで身体を動かすこと、小学生期は放課後の遊び場の減少に対して、げんき塾を推進していき、民生児童委員の力を借りながら、将来的には見守り活動によって地域で子どもたちが遊べるよう移行していくこと、中学生期はゆるスポーツの推進など、子どもたちが身体を動かすことを楽しいと思えることが、体力低下や運動離れを食い止めていけると考えている。
	委員	企業に求めるものとして資金や人材の支援が明記されているが、働き盛り世代へのアプローチ手段やプラットフォームとしては企業の協力が必要不可欠だと思う。
	委員	高齢者の運動する機会があまりない。福祉課との連携や、運動の機会の創出はどのくらい可能か。
	事務局 (所)	福祉課はもとより、みんなの健康×スポーツ実行委員会、スポーツ推進委員、スポーツ協会等、様々な団体と連携をしていく。先日もクアオルトのウォーキングコースができたが、そういった多様な地域資源を活用しながら健康長寿を推進してまいりたい。高齢者が健康や運動に対して意識を持って活動していることも把握しており、そういった方々のやりたいことができるような環境を充実させていきたいと考えている。
	委員	計画に具体性がないが、詳細についてはどうするのか。
	事務局 (所)	計画自体はあくまで目標値の設定であり、具体的な取り組みの詳細については、計画策定後の審議会で新たなアクションプランを提示するので、審議していただきたい。
	委員	ポッチャの常設コート数の今後の見込みについて知りたい。
	事務局 (所)	令和10年度に6箇所の常設コートを目指している。例えば総合福祉センターの会議室の床面など、普段は会議に使用し、机を寄せればポッチャができるようにすることで、体育施設以外の場所でも活用を図りたい。
	委員	高みをめざすと書いてあるが、どちらかというと競技人口を広げるための入り口でしかないと感じるので、今頑張っている子どもたちへの支援として金銭的サポートなども必要ではないか。
	事務局 (所)	高みを目指すところとしては、高地トレーニングも含めて屋内プールを利用した中高生向けのスクールを開催し、普段できない練習にも活用している。そうした中で、中学生が以前より上の大会へ進むことができている。少し競技力が向上している。今は水泳のみだが、他の競技でもそういった活動を通じて支援をしていきたい。また、金銭的な部分については引き続き検討させてほしい。
	委員	アンケート項目が前回とほぼ同じであるため、前回との比較を載せられるといい。
	委員	子どもの運動離れについて、現在も体験活動や学校支援などを実際に行っているため本来であれば良くなってきていると言えたらいいのだが、実際はまだ運動好きの子どもの増加にうまく繋がっていないところがある。現在の取り組みは今後も充実させていきたいと思うが、足りない部分の支援について、皆と計画または日常の活動で考えていきたい。
	事務局 (所)	市や団体の活動以外にも、子どもたちの生活に家庭が大部分を占めるというところを考えると、保護者の方が子どもと一緒に公園遊び等をして、体力向上していくことも期待したい。親子遊びを通じて、子どもたちが体を動かすことが楽しいと思ってもらえるように市民の皆様にも担っていただきたい。
	委員	区の役割も計画には盛り込まれているが、今年は区で行ったスポーツ交流会の参加率が半分になっている。区の役員が1年ごとに交代する中で抱えているものも多く、区の関わり方を市でもサポートしていかないと、なかなか区を活用しきれないため、市が寄り添って一緒にやっていく必要がある。
事務局 (所)	市の行事でもやはりここ数年のコロナ禍で参加率が低く、一度参加を控えた人がまた元通りに戻るといったことは難しい。その辺は市も一緒に考えていきたい。	
委員	本日、それぞれの立場での考えを聞くことも参考になる。子ども向けにやっている、音楽に合わせて身体を動かせる遊びなどでは、保護者の方もいい笑顔で帰られていくのを見る。昨今、遊び場がないということや友達と遊びたくても遊べない状況等も痛感しており、イベントもいいが、今の状況にあわせた形で、親子や仲間と身体を動かすことを楽しめる遊びを紹介していくことも必要だと感じた。	
会長	以上で審議は終了とする。	
5 その他	企画振興部長	事務局よりその他説明がある。
	事務局 (土屋)	次回の開催日について説明。
	企画振興部長	三溝職務代理者に閉会の言葉をお願いしたい。
6 閉会	職務代理者	閉会